

(14) サワラ資源造成支援事業

予算

運営費交付金、瀬戸内海栽培漁業推進協議会補助金

概要

サワラの種苗放流による「資源造成型」の栽培漁業を展開するため、瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎において、瀬戸内海11府県協力の下で、サワラの共同種苗生産が実施され、全長46.9mmの種苗117.7千尾が生産された。

この生産された種苗のうちの一部を阪南市地先に輸送し、中間育成に供する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて中止とした。なお、他県からは合計74.5千尾の稚魚が中間育成の後放流された。関係各府県で連携して放流効果を把握するため、8月から11月に大阪府内のサワラ流し網と一部板びき網により漁獲された0-4歳魚のサワラ179尾を入手し、耳石ALC標識の有無を蛍光顕微鏡を用いて観察した。

調査方法

1. 標識魚混入率調査地点
 - ・泉佐野漁協（板びき網）
 - ・岡田浦漁協、尾崎漁協、西鳥取漁協、下荘漁協（さわら流し網）
2. 調査期間
2020年9月から12月にかけて実施
3. 調査項目
年齢査定および耳石ALC染色の有無の確認

調査結果

本年度の調査では179尾のサワラの耳石を入手し、年齢査定とALC染色の有無の確認を行ったが、放流魚の混入は確認できなかった。詳細は表1の通り。

担当者

山中智之

表1 大阪府における放流魚の混入率

	年級	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
0歳	調査尾数	90	78	33	87	33	43	2	12	16	2	79	5	58	3	17	
	標識尾数※	43・6・0	32・12・0	1・0・0	5・3・0	1・0・0(1)	7・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0
	混入率(%)	54.4	56.4	3.0	9.2	6.1	16.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	調査尾数	0	37	34	67	55	79	166	169	176	118	146	155	171	124		
	標識尾数※	0・0・0	15・3・0	2・0・0	2・2・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	1・0・0	0・0・0	0・0・0		
	混入率(%)	0	48.6	5.9	5.9	0	0	0	0	0	0	0	0.6	0	0		
2歳	調査尾数	11	11	18	1	4	21	27	10	34	33	15	2	37			
	標識尾数※	2・0・0	2・0・0	2・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0			
	混入率(%)	18.2	18.2	11.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
3歳	調査尾数	4	2	2	2	5	4	14	5	0	0	0	0				
	標識尾数※	1・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0				
	混入率(%)	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
4歳	調査尾数	1	0	0	0	4	3	0	0	0	1	1					
	標識尾数※	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0					
	混入率(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

※標識の種類別(ポイント・二重・リング)に標識
 グレー色が今年度調査分。
 ()内は屋島事業所試験放流群。